

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 5/27



スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 3 戦

5月27日(日) 予選・決勝

ロードコース 1 LAP=4.801km

天候：晴れ コース：ドライ 出走：17台

気温：25℃ 湿度：28% 路温：38℃

ドライバー：大久保一成 (AlbirexRT エンドレス #34)

太田達也 (アルビ RT 玉三郎ビヨ ED 岩本 #35)

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)

予選結果：湊選手 9位 太田選手 11位 大久保選手 13位

決勝結果：湊選手 7位 (ポイント獲得) 太田選手 11位 大久保選手 リタイヤ

湊選手が今シーズン初のポイントを獲得！

■5月27日(日) 予選

10時45分予選開始。太田選手は先週富士で表彰台を獲得した時とは違う車両でのレースウィークとなる。太田、大久保両選手は他チームの同レベルの選手に牽引してもらうためにアタックを開始した。序盤太田選手は5、6番手の時計を記録。しかし、他選手はタイヤが温まるにつれてタイムを着実に伸ばす中、太田選手のタイムはなかなか伸びず、予選11番手で時間となる。予選終了後、セッティングの変更を余儀なくされた。

大久保選手は自らのドライビングの向上に向け走行、13番手を獲得した。

湊選手は第1戦で予選の戦い方を失敗しており、今回の予選は最後尾からの走行開始を選択。クリアラップを取るべくコースインしたが、本来の速さを見せることができないままタイムの上らない集団につかまり、結果9番手になった。今回もうまくクリアラップを取ればより上位で決勝を迎えられた可能性が高く、予選の戦い方をもう一度構築する必要がある。

■5月27日（日） 決勝

3選手ともスタートはすばらしいタイミングで走り始めたが、1コーナーでリタイヤを含む混乱が発生。これによるトラブルの一環で大久保選手が後続車のフロントウイングにより右リヤタイヤを切られリタイヤを喫してしまう。

太田選手は1コーナーの混乱で7番手に浮上するも、ペースが上がらず徐々にポジションを落としていく。

湊選手は1コーナーの侵入で3つポジションを上げ6番手に上がるも、目の前を走っていた5番手車両が失速したため湊選手も減速を迫られ、瞬く間に両脇より5台に抜かれてしまう。幸いマシンの接触はなく、そのままレースを続行。遅れを取り戻すべく果敢にアタックする。

湊選手は3位と同じ2分3秒台をマークするなど1周で1台のペースで確実に抜いていき、最終ラップ最終コーナーまで8番手を走行。最終コーナー立ち上がりでの加速競争の末、最後に1台をパスし、8番手とわずか0.086秒差の7位でゴール。今シーズン初のポイントを獲得した。

太田選手は最後までペースが上がらず、予選と同じ11位という結果となった。

○大久保選手コメント

2戦続けてスタート直後のリタイヤとなり悔しいです。まだまだ他の選手との差があるので、もっと練習して上位を狙えるようにしたいです。

○太田選手コメント

先週表彰台を獲得した時とは違う車両でのレースとなりましたが、思うようにペースが上がらず苦勞しました。次のレースでは今回の反省点・改善点をしっかり生かして、また表彰台に立ちたいです。

○湊選手コメント

1コーナーで12番手までポジションを落としてしまったのが痛かったです。予選でもなかなかクリアラップが取れず、全体的に不満の残る結果となりました。速さは出てきていると思うので、次戦では表彰台を狙います。

○中村監督コメント

大久保選手は課題がたくさんあるので練習を続けてほしいと思います。

湊選手は速さが出てきたので、予選の戦い方がこれからの課題になりました。

太田選手に関しては車両がスイッチした中努力をしてくれました。技術の高いドライバーなので、車両の方向性が見えてきました。

今後とも努力いたしますので応援の程よろしくお願い致します。





P PLUS  Nankai Plan Co., Ltd.

鈴木会計
増玉・川口
<http://www.tcnf.com/sds>

MID Japan Inc.
Mitsui Impress Development

